

最近の雇用情勢について

(令和元年8月)

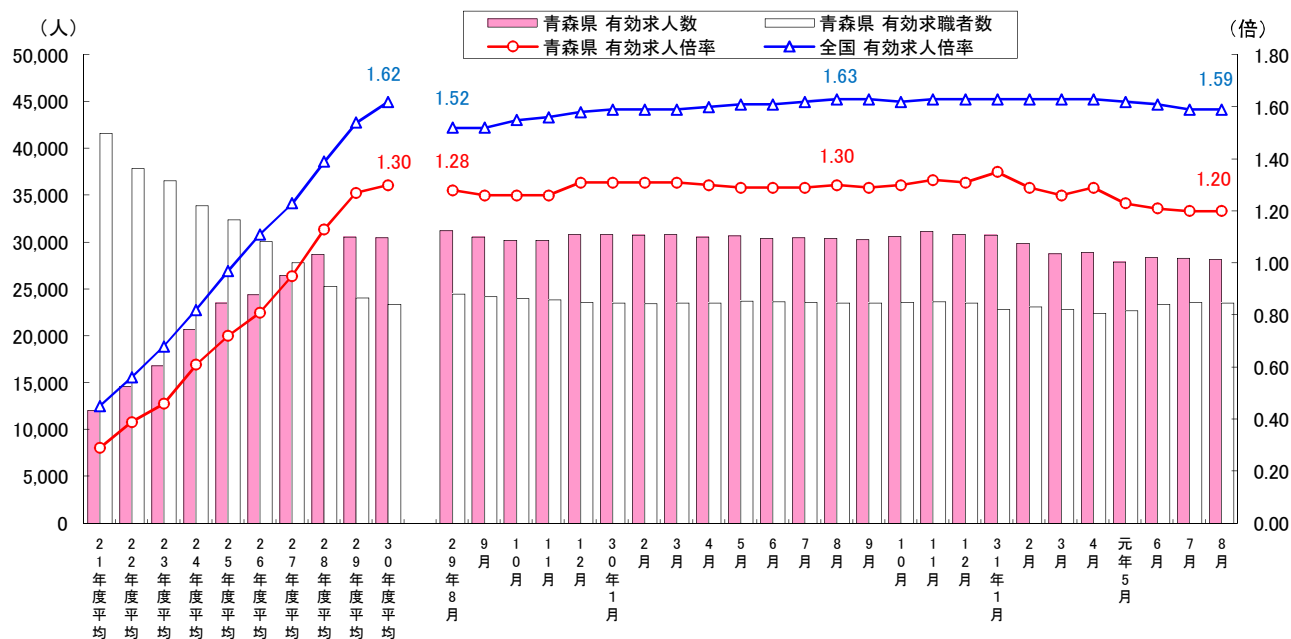
青森労働局

I 受理地別求人倍率の推移(季節調整値)・・・年度平均は原数値

8月の一般職業紹介状況をみると、有効求人数（季節調整値）は前月に比べ0.6%減少し28,165人、有効求職者数（同）は0.2%減少の23,500人で、有効求人倍率（同）は1.20倍となり、前月と同水準となった。

就業地別の有効求人倍率（季節調整値）は1.32倍と前月より0.01ポイント上回り、受理地別の倍率を0.12ポイント上回った。

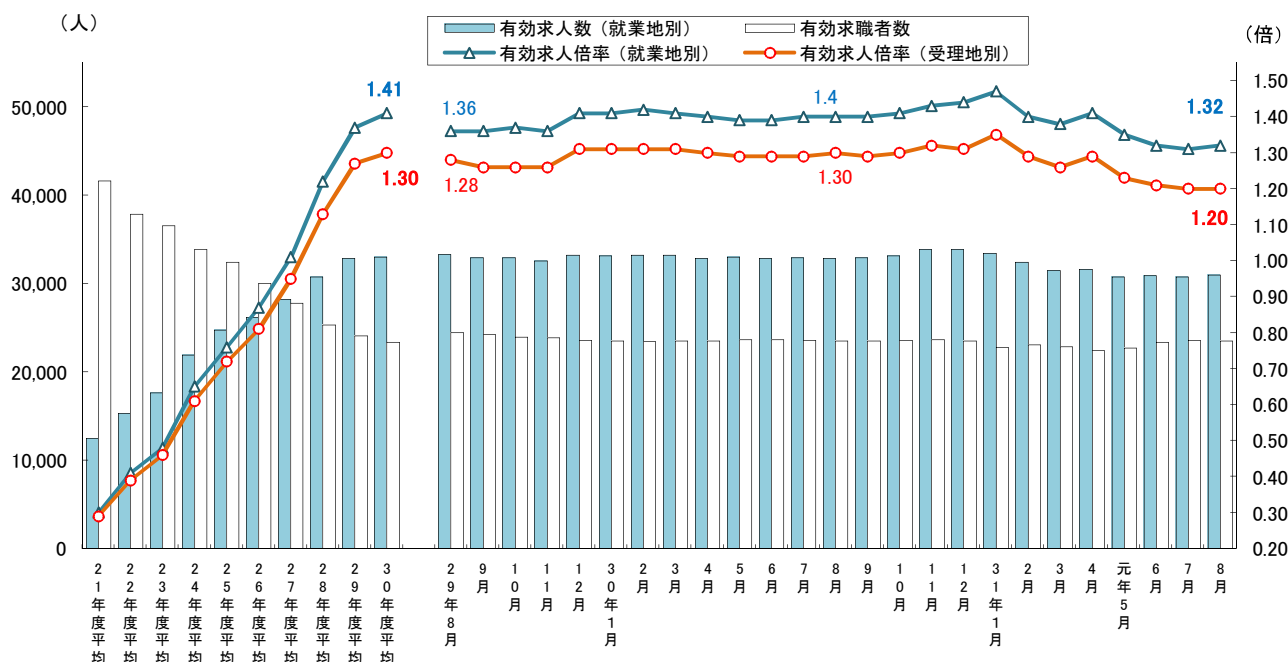
受理地別有効求人倍率の推移（全数・季節調整値）



※ 県内のハローワークで受理した求人数から求人倍率を算定。

【参考指標】

就業地別有効求人倍率の推移（全数・季節調整値）



全国のハローワークで受理した求人、就業地が青森県内となっている求人数から求人倍率を算定。
季節求人については、受理したハローワーク管内を就業地としてみなしている。
就業地として複数の市町村が挙げられている場合は、求人数を該当の市町村に割り当てることにより集計。

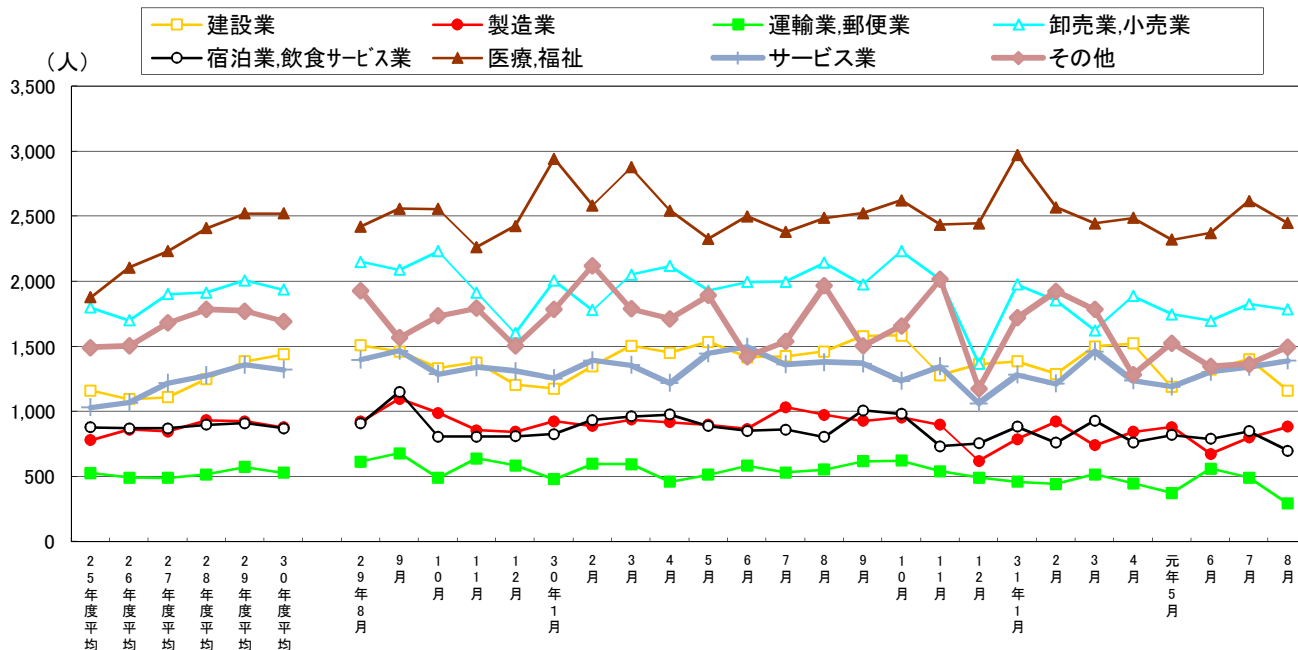
(注) 季節調整法はセンサス局法Ⅱ(X-12ARIMA)による。なお、平成30年12月以前の数値は新季節指数により改訂されている。

II 新規求人の状況(学卒を除きパートタイムを含む)

8月の新規求人数(原数値)は前年同月比13.8%(1,621人)減少の10,157人。

主な産業別で前年同月と比較するとサービス業等で増加し、建設業、製造業、運輸業、郵便業、卸売業、小売業、小売業、宿泊業、飲食サービス業、医療、福祉等で減少した。

製造業では、パルプ・紙・紙加工品製造業、鉄鋼業、非鉄金属製造業、金属製品製造業、電子部品・デバイス・電子回路製造業で増加し、食品品製造業、飲料・たばこ・飼料製造業、木材・木製品製造業(家具を除く)家具・装備品製造業、印刷・同関連業、窯業・土石製造業、はん用・生産用機械器具製造業、業務用機械器具製造業、情報通信機械器具製造業、輸送用機械器具製造業、電気機械器具製造業等で減少した。



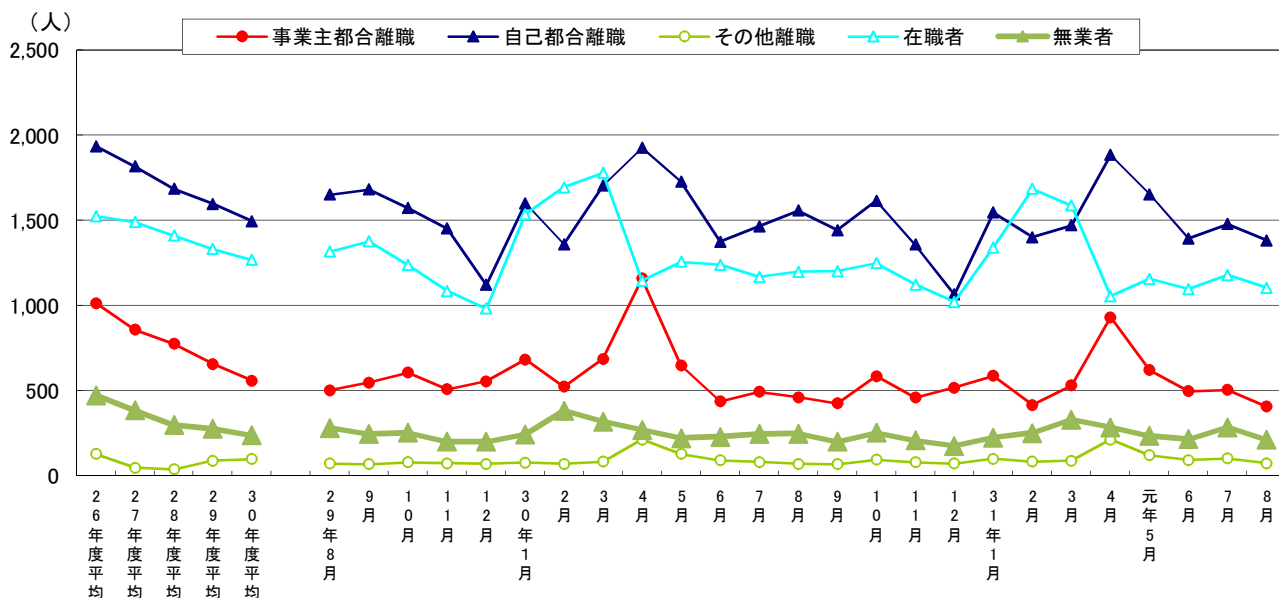
平成26年4月内容分より、平成25年10月改定の「新産業分類」での集計となっています。
 『その他』には、「農、林、漁業」「鉱業」「電気・ガス・熱供給・水道業」「情報通信業」「金融業、保険業」「不動産、物品賃貸業」「学術研究、専門・技術サービス業」「生活関連サービス業、娯楽業」「教育、学習支援業」「複合サービス事業」「公務・その他」を含みます。

III 新規求職の状況(パートを除く常用)

8月の新規求職者数(原数値)は、前年同月比10.0%(355人)減少の3,181人。

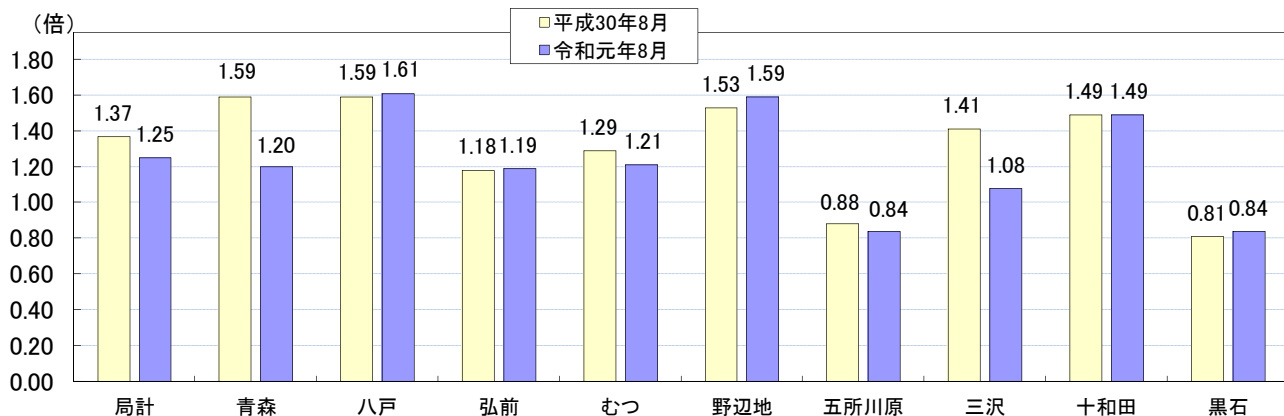
求職者を態様別に前年同月と比較すると、在職者は7.9%(95人)減少、無業者は14.2%(35人)減少、離職者は10.8%(225人)減少し1,865人となった。

離職理由でみると、事業主都合は同11.7%(54人)減少、自己都合は同11.2%(175人)の減少となった。



IV 安定所別求人倍率の状況(学卒を除きパートタイムを含む全数・・・原数値)

8月の局計の有効求人倍率(原数値)は1.25倍となり、前年同月より0.12ポイント低下した。
各安定所別の有効求人倍率は次のとおり。



R1.8	局計	青森	八戸	弘前	むつ	野辺地	五所川原	三沢	十和田	黒石
有効求職者数	22,247	5,474	4,916	4,526	990	703	2,101	1,209	1,053	1,275
有効求人数	27,875	6,542	7,927	5,385	1,193	1,119	1,769	1,304	1,567	1,069

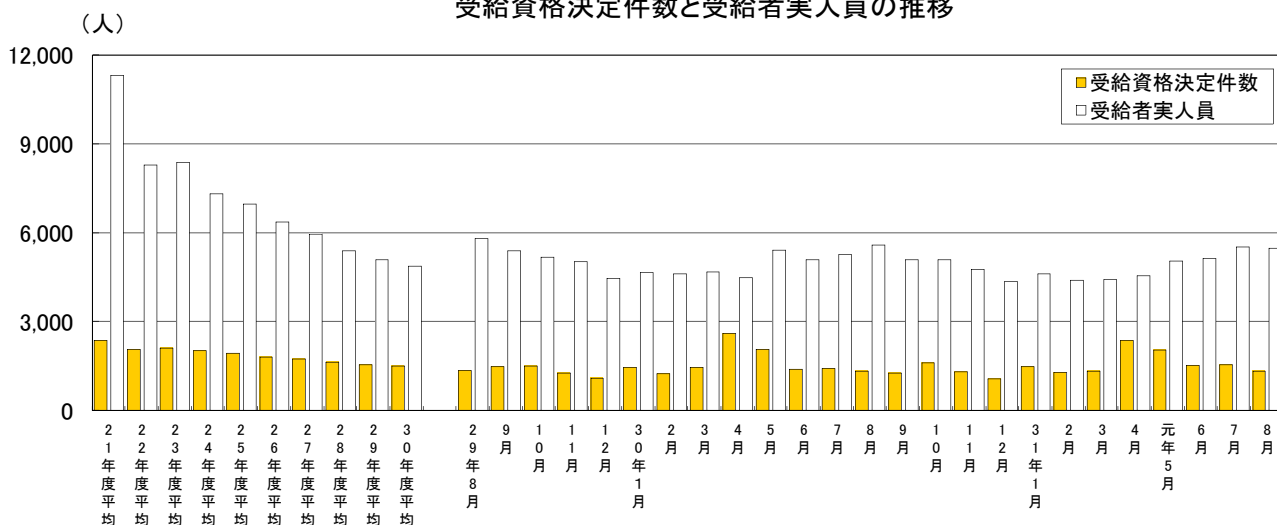
(単位:人)

V 雇用保険の状況

8月の受給者実人員(基本手当基本分)は、前年同月比1.9%(108人)減少、前月比では0.8%(45人)減少の5,477人となった。また、受給資格決定件数は、前年同月比0.9%(12件)増加、前月よりも12.9%(197件)減少し1,335件となった。

資格喪失者(高齢者、短期特例被保険者を除く)のうち事業主都合による者は、前年同月比20.0%(39人)減少、前月比57.1%(208人)減少し156人となった。

受給資格決定件数と受給者実人員の推移



事業主都合による資格喪失件数の産業別推移

